

第二回

池
女
会

い
け
じ
よ
か
い

池
田
町



~~本日の流れ(多少前後します)~~

1. 理事挨拶及び今回の会について

1300～1315

2. 自己紹介

1315～1325

3. 前回のふり返り

1325～1405

4. シャッフルタイム

1405～

※途中お茶タイムを1～2回とります。

5. まとめ

～1600

コーディネーター紹介

今回の司会者 **細川甚孝（ほそかわ しげのり）**

◆昭和46年 秋田県仙北市生まれ

- ・上智大学大学院社会学専攻博士後期課程満期修了
- ・早稲田大学大隈記念大学院公共経営研究科修士課程修了

◆所属

- ・政策支援合同会社 ・日本経営協会
- ・早稲田大学パブリックサービス研究所客員研究員

◆専門

- ・行政評価／教育・文化・産業等地域政策

1. 全体の流れについて

◆今回のポイント：課題発見→みんなで解決

住民のきもち・想いを、参加者の皆さんで議論し、地域の課題・気になるところを発見し、それを解決するプロジェクトを考えることです。

そして、実際へ向けてどんなことを段取っていけばいいのかを考え、すぐにプロジェクトを始めるためのアクションを議論します。

1. 全体の流れについて

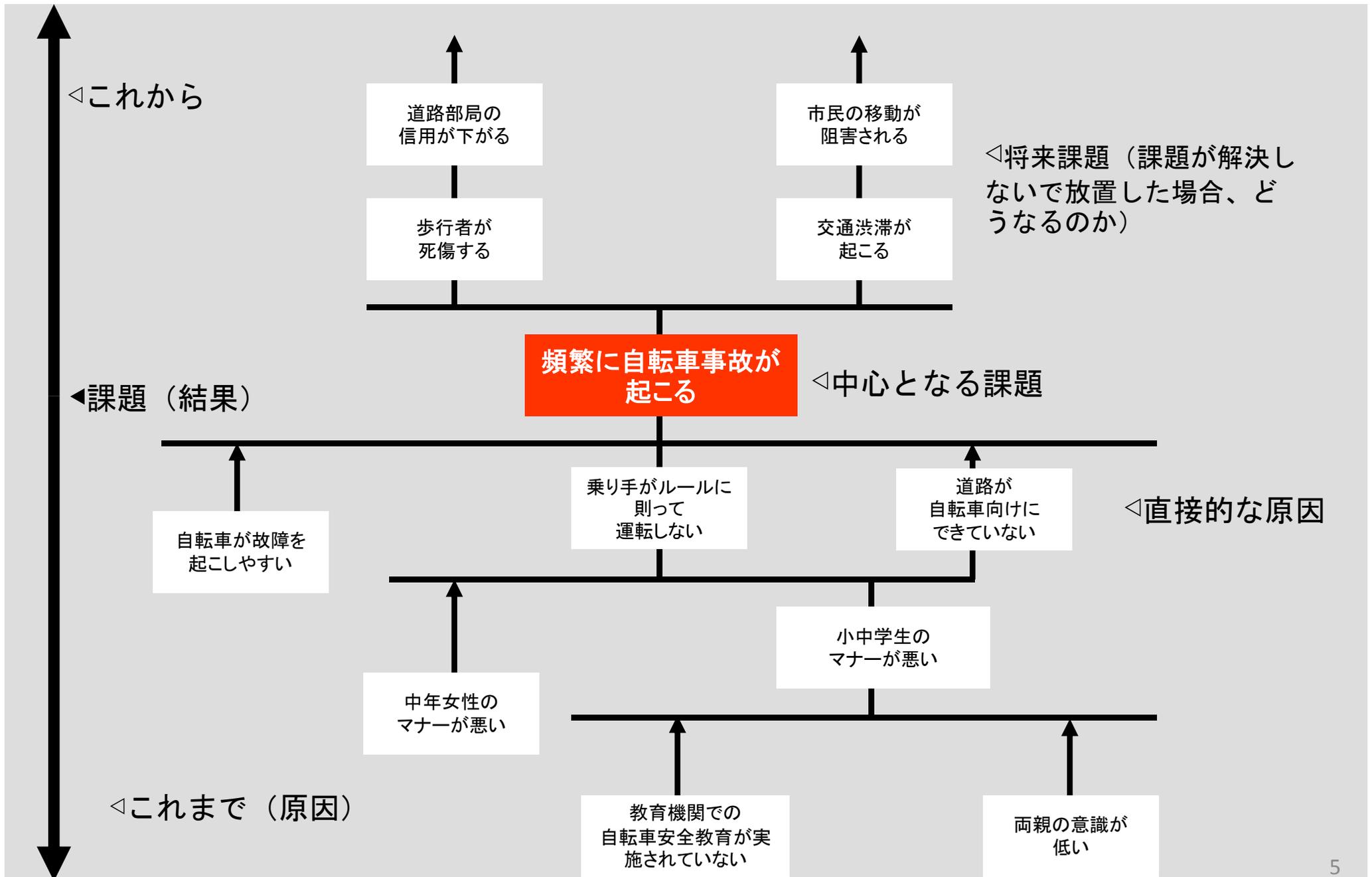
◆考え方のポイント; 原因と結果を考える。

・一般に、この手の話し合いは、自分たちの言いたいことを言い合っておしまいなことが多いです。

・まちを変えていくには、自分たちのまちの課題をみんなで共有して、なぜそうなっているかを考えていくことが必要です。

・なぜそうなっているか(結果と原因)のつながりを考えることが大事です。

原因と結果で考える例；自転車事故頻発の課題ツリー



1. 全体の流れについて

今回の5回の流れ

第1回 テーマごとの課題を発見します。

第2回 チームを変えて、テーマについて議論します。

第3回 課題に対応するプロジェクトを考えます。第4

回 すすめかたなどを議論します。

第5回 まとめ・発表

2. 第2回の考え方

- ◆前回のメンバーで前回の議論を振り返ります。
- ・前回での議論を振り返ります。事務局がまとめたシートについて、内容の確認をします。言い忘れたこと、もっといいことを書きます。
- ◆メンバーをチェンジして、もう一度テーマについて考えます。
- ・どうして、そうなったのか、なぜそうなったのかをみんなで考えます。
- ◆課題・対応策などを自由に議論します。
- ◆次回の対応策についての検討へむけての基礎を作ります。

3の1. 進め方

(1) 自己紹介(10分くらい)

;じゃんけんしてあいこになったら自己紹介

- ・前回はお名前・ご職業
- ・今回はお名前・好きな食べ物とその理由

3の2. 進め方

(2) 前回のふり返り(30分～50分くらい)

☆前回と同じメンバー

■1 細川が事務局でどうやってまとめたかを紹介します

■2 司会が中心となって、それぞれの課題を振り返ります。

- ・必要に応じて、意見を付け加えたり、削ったりしてください。
- ・課題とそれに対する対応策を自由に考えてください。
- ・対応策は、目立つようにしてください。
- ・できるだけ、付箋&プロッキー(太字)をお願いします。

3の3. 進め方

(3) シャッフルタイム(30分～50分くらい; 2回するかも)

☆前回のメンバーを1～2名程度残して、違うチームに移ります。

■1 司会とコアメンバーが中心となって、自分たちのツリーを説明します。

■2 新メンバーとこれまでのメンバーが対話をしながら、課題それぞれに対して、ツッコミ・意見・感想・コメントを付け加えます。できるだけ付箋に書いて、突っ込みを入れてください。

- ・必要に応じて、意見を付け加えたり、削ったりしてください。
- ・課題とそれに対する対応策を、自由に考えてください。
- ・対応策は、目立つようにしてください。
- ・できるだけ、付箋&プロッキー(太字)をお願いします。

3の4. 進め方

(4)まとめ

- 各グループで議論の内容は発表していただきます。

(5)次回

- 次回は、事務局で整理した課題の一覧に対して、皆様方のアイデアをぶつけていきます。どうぞ期待です。